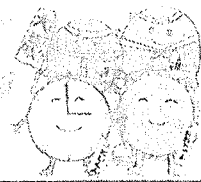




心和得天真

～心和して天真を得る～



山口市立大歳小学校
学校だより
令和7年6月

みんな輝く 笑顔いっぱいの 運動会

5月24日(土)は、残念ながら朝から雨が降り、1日順延となりましたが、25日(日)に、令和7年度大歳小学校運動会が開催されました。運動会に向け、準備等にご協力いただいたPTA役員の皆様、最後まで温かくご声援くださった保護者の皆様、地域の皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちが決めたスローガンの通り、児童一人ひとりが全力で取り組み、輝いている姿がたくさん見られた運動会でした。

運動会は速さや強さを競うだけの場ではありません。一人ひとりが自分の力を出し切り、仲間と力を合わせて、応援し合うことが大切です。そして何より、頑張る自分を、仲間を、みんなで認め合い、たたえ合い、笑顔になれる日です。

勝ってうれしくて生まれた笑顔もありましたが、負けても最後まで走り抜ける姿、大きな声で友達を応援する姿、転んでも立ち上がって頑張る姿など、一生懸命な姿から生まれる、『心からの笑顔』がたくさん見られた運動会でした。

保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



「表の努力」と「裏の努力」

さて、この6月は、子ども達が自分の成長のために、目標を再確認し、こつこつと「努力」をすることが求められる1ヶ月になります。

この「努力」について、私が読んだ本で、深く共感した本があるので紹介します。

皆さんは桑田真澄さんを知っていますか？

桑田さんは、高校時代にPL学園のエースとして甲子園で活躍し、その後、プロ野球の読売ジャイアンツやアメリカ大リーグで活躍をした元プロ野球選手です。その桑田さんが書かれた、「心の野球」という本の中の一節を紹介します。

桑田さんは、「努力には『表の努力』と『裏の努力』の2種類があり、両立できてこそ、努力は報われる。」とされています。『表の努力』とは、野球で言えばランニングをしったりピッチングをしったり、技術や体力をつける練習のこと。『裏の努力』とは、トイレ掃除だったり、ゴミが落ちていたら拾うことであったり、靴を揃えること、あいさつや返事など、スポーツとは関係のない努力のことだそうです。桑田さんは、『表の努力』以上に『裏の努力』を一生懸命続けており、そのおかげで、心が鍛えられ、そして、ここぞという時に、運とツキをくれるのだとされています。私は、この『裏の努力』こそが『表の努力』を支え、その基となる『心』を育てる方法であることを、この本から教えてもらいました。

この『裏の努力』と『表の努力』をこつこつと取り組み、『心』が育つ6月になるよう、教職員一同、頑張っていきたいと思っています。

